

## 住吉母子医療センター情報誌

# きらり

Vol.3



## Topics

流行中!!!

はしか  
**麻疹は恋のようなもの?!**  
そんなことはありません!正しく知ってワクチン接種を!

★小児科医に聞く「母乳の神秘」②  
～母乳の免疫についてのおはなし～

★ドクターかっこってしていますか?  
普段見られない車内を公開!!

★知って役立つ**小児科マメ知識!**  
～母子手帳のおはなし～

小児科病棟に  
★「クリニクラウン」がやってきたよ♪



# 流行中!!! 麻疹は恋の ようなもの?!



前号では、風疹の流行についてお伝えしましたが、今度は麻疹(はしか)の流行が発生しています。ちょうどバレンタインの時期に感染拡大のニュースが流れました。昔から「恋は麻疹のようなもの」という比喩表現がありますが、感染はとても危険です。

妊娠中に麻疹に感染しても胎児の奇形が起きることはあります。一般的な方と比べると重症化するリスクが高く、高熱の持続は胎児に悪影響を与える可能性があります。免疫力のないお母さんから生まれた赤ちゃんの場合は生まれてすぐに感染する可能性もあり、非常に危険です。しかも風疹ワクチンと同様、麻疹ワクチンも妊娠中は打つことができません。

「恋ははしかのようなもの」という言葉の中には、若いうちにかかると軽く済むが、年取つてからかかると重症化するという迷信が含まれています。恋はそうかもしれません。実際は、発疹と同時に高熱が続いてとても消耗する病気です。しかも、麻疹はインフルエンザや風疹と違って空気感染しますのでとても感染力が強く、免疫力(抗体)のない人は、おなじ部屋にいただけでうつってしまいます。

現在26歳から50歳過ぎくらいまでの方のなかには、十分な麻疹に対する免疫力(抗体)のない方が多くおられます。麻疹にかかったかも、と思われたら、病院に受診する前にまず電話をしてください。病院で体の弱った方に感染を広げないためにとても大事なことです。

どうかこの機会に、麻疹のワクチン接種をぜひ受けてください。現在、麻疹と風疹のワクチンはセット(MRワクチン)になっていて、一緒に打つことができます。それくらい安全なワクチンということですし、どちらの予防も接種を受ける方自身の健康だけでなく、妊婦さんや赤ちゃんを含めた、社会全体の健康を守るためにとても大切です。

## 母子手帳の役割



知って役立つ!  
小児科マメ知識

母子手帳、正確には「母子健康手帳」ですが、みなさん「母子手帳」の方がなじみありますよね。現在、アジア・アフリカを中心に世界30か国以上の国や地域で使われている母子手帳ですが、日本生まれだとご存じでしたか?

1948年(昭和23年)、戦後間もない時に、妊娠中のお母さんと生まれた子どもの健康を守る手帳として、世界ではじめて考えられたのが「母子手帳」でした。当時は母子手帳があれば、妊娠中や授乳中の母親は優先的にミルクや砂糖がもらえたそうです。

母子手帳は、妊娠中、出産、新生児、そして何歳になっても使える、その人(個人)にとって「世界にひとつの自分のカルテ」の役割があります。カルテは、各々の病院や保健センターが別々に

作って管理していますが、母子手帳は、どこで生まれても、どこの病院にかかっても、一貫した個人のデータとして医療や保健の現場で活かすことができます。

さて、今年大阪では麻疹(はしか)の流行が大問題です。2018年の大阪府の麻疹患者は15人でしたが、2019年は2月すでに100人近くになっています。風邪症状、熱があって発疹がでてきた!さあ大変、この子は麻疹?自分(親)は罹るの?そんな時、母子手帳の予防接種の記録が非常に大切な情報を与えてくれます。麻疹ワクチンを2回接種していれば、まず麻疹に罹ることはありません。1回接種の人は医療機関で相談しましょう。

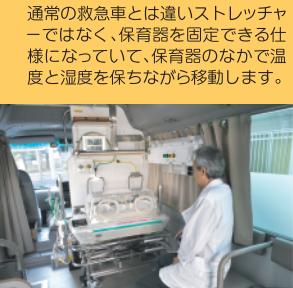
ワクチン(予防接種)を受けたら、必ず母子手帳にきちんと記録をしてもらいましょう!

# ドクターかー じっていしますか? って

2



救急車と違って  
医師が同乗するよ!



通常の救急車とは違いストレッチャーではなく、保育器を固定できる仕様になっていて、保育器のなかで温度と湿度を保ちながら移動します。



車内は立ったまま乗れるぐらい広い!



地域医療機関で、出生後の急変など予期せぬ出来事があった時に、地域医療機関先からの依頼で医師がかけつけます。医療機関先でおこなえる処置をし、当センターNICUまで医師が付き添い移動することのできる救急車



## 母乳育児の神秘 ~②母乳の免疫~

母乳はあかちゃんにとって、栄養学的に最良最適な栄養であり、免疫成分も豊富に含まれています。主な成分として、①分泌型IgA②ラクトフェリン③リゾチーム④リンパ球・マクロファージ⑤オリゴ糖が知られています。

①分泌型IgAは、初乳中に多く含まれます。出生後早期は消化機能が未発達ですが、初乳中の分泌型IgAは腸管まで届き、母親の持っている免疫を受け継ぐことができます。

②ラクトフェリンは、初乳中に多く含まれ、発がん予防、感染予防効果があります。鉄と結合し、鉄を必要とする細菌・真菌に対する抗菌作用を示し、ピロリ菌や歯周病菌の抑制やウイルスに対する感染予防効果を発揮します。また、大腸内のビフィズス菌を増やし腸内細菌のバランスを調整し、貧血の改善、関節炎や大腸炎の改善、内臓脂肪の低減効果も知られています。

母乳の神秘や機能について理解を深めて頂き、赤ちゃんの健やかな成長にお役立て頂ければ幸いです。

③リゾチームには、細菌の細胞壁を加水分解することで抗菌作用が観られ、IgA産生促進、マクロファージ活性化、エンドトキシン作用減少させる等の、免疫調整作用があります。

④母乳は生きたリンパ球や好中球、マクロファージを含み活性化された貪食細胞を有するため、常温では母乳中の細菌は減少します。搾乳後授乳まで6時間以上かかる場合には、冷蔵ないしは冷凍保存しておきましょう。冷蔵(4°C)の場合は8日間、冷凍(-20°C)の場合は、12ヶ月間の保存が可能ですが、いずれの場合も栄養的、免疫的な質は損なわれる可能性があります。

⑤ビフィズス菌、乳酸菌はプロバイオティクスと呼ばれ、腸管内で有害な細菌の生育を抑制し腸の運動を調整する作用があります。また、最近では生活習慣病の予防や免疫調整作用があることもわかっています。母乳中のオリゴ糖はこのプロバイオティクスの増殖を促進するため、出生時無菌状態のあかちゃんの腸管にいち早くプロバイオティクスが定着するのに有利に働きます。

次回は、③母乳育児の効果です



# クリニクラウン やってきたよ♪



認定 NPO 法人日本クリニクラウン協会さんから、今回も真っ赤なお鼻がかわいらしい「きゃしー」と「ぐんぐん」のふたりが、ハーモニカとマラカスの音と共に小児科病棟にやってきました！

慣れない入院生活に少し不安だった子や、感染症でなかなかお部屋から出られない子、年齢や病状が様々な子どもたち、付き添いのご家族、そして小児科の先生、看護師までがきゃしーとぐんぐんの笑顔とパフォーマンスに引き込まれていき、小児病棟中いっぱいに笑顔と笑い声があふれ、素敵なひとときとなりました！



## 「クリニクラウン」とは？

クリニクラウンとは「病院」を意味する「クリニック」と「道化師」を意味する「クラウン」を合わせた造語です。クリニクラウンは入院生活を過ごす子どもの病室を定期的に訪問し、遊びとユーモアを届け、子どもたちの笑顔を育む道化師のことです。病気の治療のためにさまざまな制限の中で入院生活をしている子どもたちが思いきり笑い、主体的に遊ぶことのできる環境をつくること、それがクリニクラウンの役割です。

※認定NPO法人日本クリニクラウン協会HPより引用

↓きゃしーとぐんぐんがいるよ♪みつけてみてね！



詳しくは <http://www.clinicclowns.jp/> まで♪

## 患者のみなさまへ

### 初めてご来院の方は

紹介状（診療情報提供書）をご持参ください。やむを得ず紹介状なく受診される場合は、通常の診療費とは別に、初診時保険外併用診療費5,400円（税込み）をお支払いいただきます。

### 事前予約をおすすめします！

地域の医療機関（紹介元）から、当センターの地域医療連携室に依頼して頂ければ、事前に診察や検査の予約（地域予約）が可能です。詳しくは「医療相談」コールセンターまでお問い合わせください。

## 医療機関の皆様へ

### 設置ご協力のお願い

住吉母子医療センター情報誌「きらり」の設置にご協力頂ける医療機関様を募集しております。

貴院への設置にご協力いただける場合、または送付希望部数を変更される場合は、右記QRコードよりメールをご送信いただきますようお願い申し上げます。

✉ Kyuseisogo@opho.jp

医療機関専用



## お問い合わせ

地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
大阪急性期・総合医療センター  
大阪府市共同 住吉母子医療センター

次号は2019年7月予定

月～金 9時～16時30分  
06-6692-1201(代表)

‘きらり’は、定期に住吉母子医療センターや大阪急性期・総合医療センターの情報を届ける情報誌です。  
イベント情報や子育てに関するフジギなどを発信していくたらと思っております。